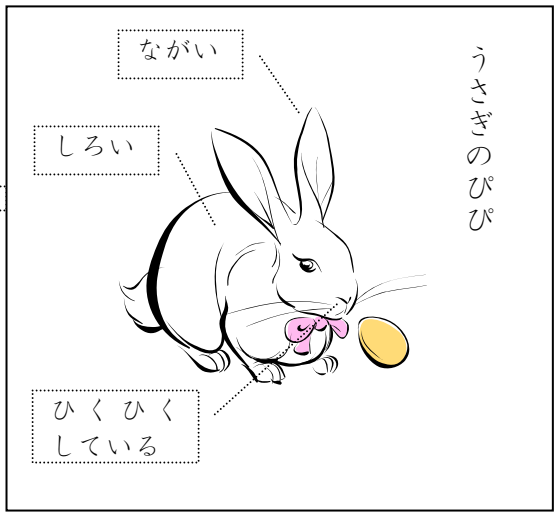
「活用」の力を育てる評価問題

小１　国語
よく見てかこう
「しらせたいな、見せたいな」

評価問題例

カードを見て、うさぎのことがよくわかるようにぶんしょうをかきましょう。



評価問題のポイント

単元の学習活動では、絵カードに書き込んだ短い言葉をつないで文を書く学習を行った。また、「なにが」（主語）「どうした」（述語）に気を付けて書くことや、「、」「。」を正しく使うことなど、言語事項に関わる内容も学習した。このような学習内容が身に付いたかを評価する問題である。評価問題では、カードの情報量を少なくすることで無理なく取り組めるようにしている。ただし、「耳」「はな」「毛」など、主語に当たるものは、絵から読み取って補う必要がある。

低学年では、自分の体験を基に書いたり、話したりすることが学習の中心になるが、単元で学習した内容を取り出して問題として取り組ませることも少しずつ経験させていきたい。

評価問題に取り組ませるに当たっては、十分な時間を取り、必要な場合は助言を与えるなどしながら無理なく進めるようにしたい。

本時の流れへ　授業展開例へ　単元の流れへ　HOME